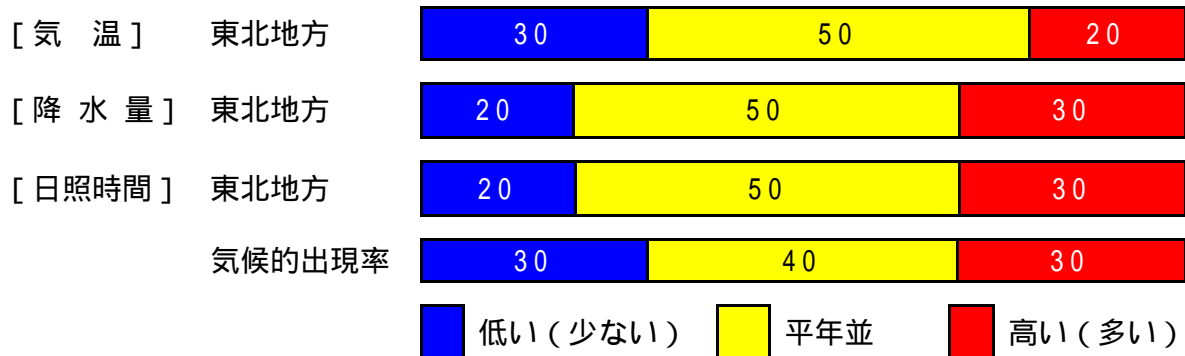


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：4 月 15 日～5 月 14 日）

平成 12 年 4 月 14 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「低い」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「高い」の確率は 20％と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「多い」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。「多い」の可能性が次に大きく、その確率は 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、この期間低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化するでしょう。低気圧の通過後は一時寒気が入る見込みで、寒暖の変動が大きく、降霜の恐れもあります。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 19 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 期間の前半は気圧の谷や寒気の影響で曇りか雨の日が多く、山沿い（4 月 15 日～4 月 21 日）を中心に雪の降る所があるでしょう。期間の後半は高気圧に覆われておおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並ですが、期間前半は低い日がある見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

2 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化するでしょう。（4 月 22 日～4 月 28 日）低気圧の通過後は寒気が入りやすく、降霜の恐れがあります。

平均気温は平年並の見込みです。

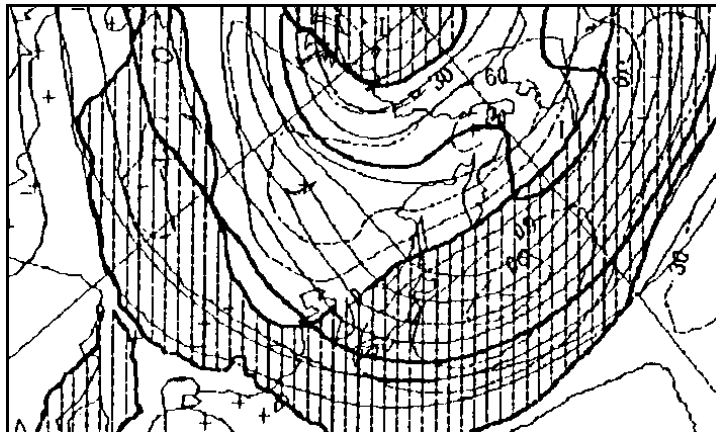
平年の晴れ日数は東北地方で約 4 日です。

3～4 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通リ、天気は周期的に変化するでしょう。（4 月 29 日～5 月 12 日）低気圧の通過後は寒気が入りやすく、降霜の恐れがあります。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 9 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



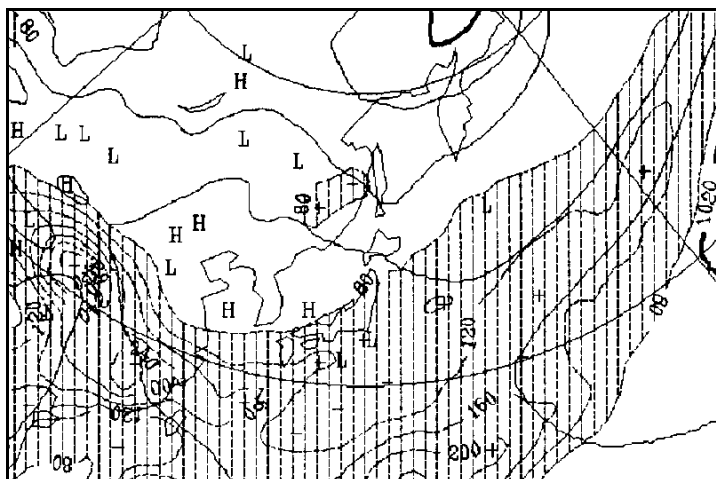
月平均の 500hPa 高度・偏差  
（等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近の中・低緯度は日本の東海上に中心をもつ負偏差に広く東西に覆われ、バイカル湖付近からアラスカにかけての高緯度では正偏差となって、寒気の入りやすいパターン。日本付近の流れは東西流が卓越しており、天気は周期的に変化するが、低気圧の通過後には一時寒気が入る見込み。

また、カムチャッカ半島付近にはブロッキング高気圧が予想されており、これにより北日本ほど予想のバラツキが大きい。

週別（図略）でみると、期間を通して日本付近は負偏差だが、1 週目が低極で、2 週目以降は弱い。



月平均の地上気圧と降水量  
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・ 地上気圧と降水量

月平均でみると、北海道を含む高緯度は東西に低圧部が広がるが、日本付近はぼやけた高圧帯。このため、基本的に天気は周期変化するが、低気圧が東海上で発達する時期がある見込み。

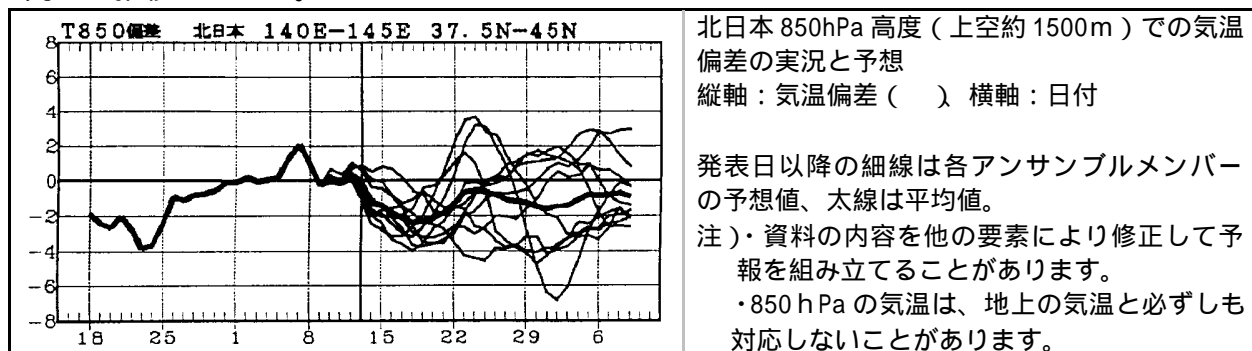
また、日本付近に強い降水域はかからない。

週別（図略）では、1 週目に北海道の東海上の低気圧から北日本にのびる低圧部が明瞭だが、2 週目以降は次第に不明瞭となる。

### 3. 北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンブルメンバーの平均でみると、予報期間中は負偏差が続き、1 週目が低極となる。ただし、2 週目には正偏差となるアンサンブルメンバーもあり、2 週目以降バラツキが大きく信頼度は小さい。

なお最近の実況では、東北地方の地上気温平年差は、北日本 850hPa の気温平年差より若干高めに推移している。



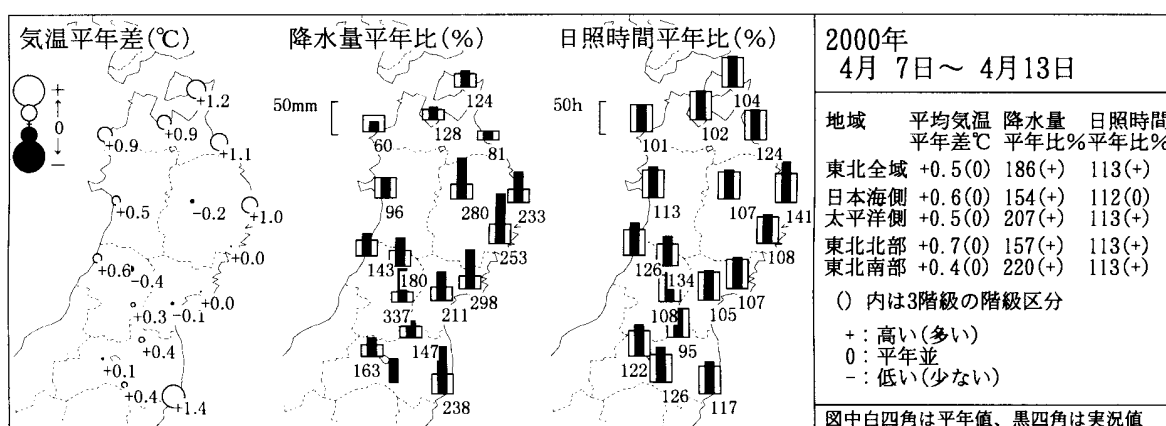
注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

### 4. 最近 1 週間（4 月 7 日～4 月 13 日）の天候の経過

この期間、前半は天気は周期的に変化し、8 日に気圧の谷が通過して全般に雨となった。後半は、上空の寒気に対応した低気圧が沿海州付近に停滞し、天気は短い周期で変わった。特に、11 日は盛岡で 5cm の降雪があった。

さくら（ソメイヨシノ）の開花は、小名浜で 4 月 8 日（平年より 1 日早い）、仙台で 13 日（平年より 1 日早い）と共に平年並だった。

平均気温は、東北地方で平年差+0.5℃と平年並だった。降水量は、東北日本海側では平年比 154%、東北太平洋側では平年比 207%と共に多かった。日照時間は、東北日本海側では平年比 112%で平年並、東北太平洋側では平年比 113%で多かった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）